

第2次甲賀市観光振興計画 第2期基本計画 計画の体系 (骨子案)

基本方針	基本戦略	基本施策	第1期 基本事業	第1期内部評価	第2期方向性	第2期 基本事業 (案)	基本事業の変更の理由や方向性(概要)の整理
忍びの里の秘めたる宝 探す甲賀のまちづくり ◆ 歴史と文化 伝え育み 歩む甲賀のおもてなし ◆ 光る宝に出会える旅に 増やす甲賀の愛好家	I 魅力向上戦略	1. 観光地の魅力向上	① 忍者の歴史・実態の調査と発信	A	継続	① 忍者の歴史・実態の調査と発信	
			② “忍者の里”の雰囲気醸成	A	継続	② “忍者の里”の雰囲気醸成	
			③ 「(仮称)まちかど案内所」の設置	A	変更	③ 観光インフォメーションセンターの機能強化	甲賀流リアル忍者館が新設され、観光ゲートウェイとしてその機能強化が求められる。
			④ 観光施設の整備	A	変更	④ 観光拠点施設の整備及び観光資源のネットワーク化	PFI等の活用なども検討し、計画に基づく継続的な観光インフラ整備と観光資源のネットワーク化が必要である。
		2. 市民と連携した資源開発	① 市民協働によるおもてなし体制づくりと観光資源開発	A	継続	① 市民協働によるおもてなし体制づくりと観光資源開発	
			② 土山宿と水口宿の連携	B	継続	② 土山宿と水口宿の連携	
			③ 市民主体の観光まちづくりの促進と地域の誇りの醸成	B	継続	③ 市民主体の観光まちづくりの促進と地域の誇りの醸成	
		3. 効果的なPRの推進	① 「甲賀ブランド」の一体的な推進	D	変更	① 「甲賀ブランド」の再構築及び戦略的活用	暫定的な更新のみとなっている甲賀ブランド認定制度のシステム再構築が必要である。
			② シティセールスの推進	A	継続	② シティセールスの推進	
	③ 地元情報の発信		B	変更	③ ICTの新たな技術による地元情報の発信	ICTなど新たな技術を取り入れた時代に合ったPRが必要である。	
	④ 日本遺産を活用したPRと観光促進		B	変更	④ 日本遺産やスカーレットレガシーを活用したPRと観光促進	新たな観光資源であるスカーレットレガシーを活用した継続的なPRが必要である。	
	II 誘客促進戦略	1. 観光ビジネスとの連携	① 公共交通と連携した観光振興	B	継続	① 公共交通と連携した観光振興	
② 観光ビジネスマッチングの促進			B	変更	② 信楽焼など地場産業をはじめとする他産業との連携促進	信楽焼や農業など地場産業との連携促進へ、現在の情勢に合わせた対応を行う。	
③ 営業活動による販路の開拓			B	変更	③ 営業活動による販路の開拓と誘客促進	継続的に営業活動を行うとともに、誘客につなげていくことが求められる。	
④ スポーツツーリズムの推進			C	変更	④ ゴルフ事業と連携した誘客促進	ゴルフ場利用客をターゲットとしたゴルフ場への誘客を図る。	
2. 誘客事業・イベントの開催		① 信楽まちなかを核とした観光誘客の強化	A	継続	① 信楽まちなかを核とした観光誘客の強化		
		② 忍者検定の充実	B	変更	② 甲賀流リアル忍者館を活用した誘客促進	館の有効活用と地域おこし協力隊との連携による新たな観光誘客を創出する。	
		③ 東海道宿場への誘客促進	B	継続	③ 東海道宿場への誘客促進		
		④ 産業観光の推進	D	変更	④ 観光産業をめざした多様なツーリズムの推進	観光産業をめざした多様なツーリズムの造成と促進が必要である。	
		⑤ 農家民宿と農業体験プログラム	B	変更	⑤ 体験プログラム及び体験型ツアー造成	グリーンツーリズムをはじめとする新たな体験観光メニューの造成を行う。	
3. 戦略的マーケティング		① マーケティング・リサーチの実施	B	継続	① マーケティング・リサーチの実施		
		② 観光調査の実施	B	統合	IIの3の①へ統合	内容が重複するため整理を行う。	
		③ 観光商品の開発	B	変更	② ニーズに基づいた観光商品の開発促進	新しい生活様式に基づいた観光商品の開発等ニーズに応じた対応が求められる。	
		4. 新たな観光の形に対応した誘客促進			新規	① マイクロツーリズムの促進	withコロナにおける新しい生活様式に対応した観光の形を造成し、促進する必要がある。
			新規	② 周遊型観光メニューの造成	withコロナにおける新しい生活様式に対応した観光の形を造成し、促進する必要がある。		
			新規	③ ICTを活用したおもてなし観光の充実	非接触型の案内手法等、コロナ過における、おもてなし体制を充実させる必要がある。		
			新規	④ スカーレットを契機としたロケツーリズムの構築	スカーレットを契機としたロケツーリズム等への対応を行う。		
III 地域活性化戦略	1. 市民意識の向上	① 観光に関する市民向け講座の開催	B	変更	① 市内観光資源に触れる機会の創出	新型コロナウイルス対策をうけて、講座開催など観光に触れる様々な形で機会の創出を図る。	
		② 学びを通じた人材の育成	B	統合	IIIの1の①へ統合	内容が重複するため整理を行う。	
		③ 環境学習プログラムの推進	C	移動	IIの2の④へ移動	内容が重複するため整理を行う。	
				新規	② ツーリズム事業への市民の利用促進	観光資源を活用したヘルスツーリズム等の利用促進により、市民への観光資源の再認識を図る。	
	2. 市民・事業者との協働	① 観光協会の機能強化	A	継続	① 観光協会の機能強化		
		② 観光ガイドの育成と組織化	B	継続	② 観光ガイドの育成と組織化		
		③ 空き家・空き店舗の活用	B	統合	Iの2の②へ統合、Iの1の④へ要素を加える	内容が重複するため整理を行う。	
		④ 観光セミナーや研修・講習の開催	B	変更	IIIの1の①へ統合	内容が重複するため整理を行う。	
	3. 広域連携			新規	③ 地域活性化のための多様な団体との連携促進	スカーレット協議会など多様な団体が協働する取り組みを継続的に支援する必要がある。	
		① 忍者をキーワードとする自治体間連携の強化	A	継続	① 忍者をキーワードとする自治体間連携の強化		
		② 日本遺産に関する自治体間連携の強化	B	継続	② 日本遺産に関する自治体間連携の強化		
		③ 広域連携の推進	B	変更	③ 広域な地域ツーリズムの推進	広域連携したツーリズム事業の展開が求められる。	
	4. (仮称)甲賀市版観光DMOの設立	④ 都市農村交流の充実	B	統合	IIIの3の③に統合		
		① 設立準備委員会の設置	D	変更	① 観光振興のマネジメントに向けた検討について	DMO調査結果に基づく、独自の観光の在り方の検討が必要である。	
		② 事務局機能の確立	D	統合	IIIの4の①へ統合	内容が重複するため整理を行う。	
		③ 組織体の設立	D	変更	② 地域資源を活かした集客交流ビジネスの促進	観光まちづくりを推進するうえで、観光産業に携わる事業者を増加させる必要がある。	